

款	2 総務費	項	9 地域活性化・きめ細かな臨時交付金	最終予算額	決算額
		目	1 地域活性化・きめ細かな臨時交付金	千円	千円
担当課決算額				11,595千円	11,074千円

○きめ細かな臨時交付金事業 11,074千円

- ・安田公民館玄関の自動ドアの修繕を行いました。

【需用費】

安田公民館環境整備事業 325千円

- ・上郷・下郷地区公民館女子トイレの和式トイレを洋式トイレに各1箇所改修しました。

【工事請負費】

公民館改修事業 599千円

- ・老朽化した上郷公民館の外壁塗装を行いました。

【工事請負費】

上郷公民館外壁改修事業 7,875千円

- ・老朽化した以西公民館の階段・ベランダ手摺・階段踊り場の修繕を行いました。

【工事請負費】

以西公民館環境整備事業 808千円

- ・老朽化した浄化槽エア配管替工事・ホール北側トイレの和式トイレを男女とも1箇所洋式トイレに改修しました。

【需用費】

カウベルホール浄化槽配管修繕工事 262千円

【工事請負費】

カウベルホールトイレ等改修工事 1,205千円

「成果」 社会教育施設の利便性向上及び施設の維持機能向上が図られました。

「課題」 施設の老朽化に伴い維持管理費の確保が難しくなっています。

款	9 教育費	項	5 社会教育費	最終予算額	決算額
		目	1 社会教育総務費	55,294千円	54,920千円
担当課決算額				55,294千円	54,920千円

○人件費 45,878千円
一般職 7人

○男女共同参画推進事業 321千円

・男女共同参画関係啓発活動 129千円

男女共同参画社会の実現に向けて、各種啓発活動を展開しました。

琴浦町男女共同参画プランダイジェスト版作成・全戸配布

男女共同参画講座開催

6月16日 できる！みんなでつくる『未来に続く』自治会 参加者 47名

12月1日・13日 私のカラダと私の選択 参加者 62名(2日計)

・琴浦町男女共同参画推進会議 130千円

男女共同参画社会の実現に向けて、研修会開催等の会が行う活動に補助を行いました。

主な事業

4月16日 琴浦町男女共同参画推進会議総会

8月27日 琴浦町男女共同参画フォーラム開催

12月9日 「風と大地と梨の木と」上映会

・日本女性会議等研修機会への職員派遣 35千円

・男女共同参画審議会 1回 委員15人 27千円

「成果」 新たな地域・内容の啓発を行う事ができました。また、全町へプラン広報も実施できました。

「課題」 男女共同参画については、まだまだ啓発が十分とは言えない現状があり、今後も様々な機会を捉えて啓発推進を図る必要があります。

○社会教育振興 3,536千円

生涯学習を総合的に推進し、社会教育団体を育成しました。

社会教育委員会 委員10人 10月14日、3月1日

(生涯にわたる社会教育の推進)

負担金：県社会教育協議会負担金

県社会教育委員連絡協議会負担金

郡社会教育協議会負担金

県子ども会連合負担金

補助金：町連合婦人会

町青年団補助金

PTA連合協議会補助金

文化協会補助金

青少年健全育成協議会補助金



「成果」 社会教育委員の資質向上や、社会教育団体の育成を図ることができました。

「課題」 社会教育への参加者の固定化が見られ、新たな参加者層への推進が課題です。

○女性教育推進事業 332千円

女性団体連絡協議会に女性研修事業を委託、女性のつどいを開催し共通の課題について研修を深め、交流の場とするとともにさらなる社会活動参画を推進しました。

女性のつどい 10月16日(土) 参加者 131人

レディーススクールについて、昨年度まで長期間継続開催していた講座を完全自主運営化、教室生自身の手による教室運営を支援すると共に、必要課題を中心とした講座を開催し、従来より低い年齢層の参加も得つつ、より幅広い年齢層での学習活動活性化が図れました。

みんなで挑戦！アサーティブ・トレーニング 2回 22人
生ゴミ減量のススメ 1回 14人
心地よい関係を築く 2回 17人

「成果」レディーススクールについて、より幅広い年齢層での学習活動活性化を図れました。

「課題」関係団体構成員・講座参加者の平均年齢上昇に伴い、新たな世代の参加推進をより強力に行っていく必要があります。

○生涯学習センター展示事業 41千円

各種グループの町民作品展では、活動者の発表の場として、また創作意欲の向上を図るとともに新規活動者を増やせるよう芸術文化の振興発展を図りました。

- ・おしゃべりサロン作品展(4月9日～12日)
- ・園芸同好会山野草盆栽展(5月22日～24日)
- ・琴浦合同俳句展(5月22日～28日)
- ・琴浦 花菖蒲まつり(6月18日～20日)
- ・寿大学表具コース・竹細工教室合同展(7月30日～8月1日)
- ・琴浦絵手紙サークル作品展(7月19日～26日)
- ・中原勇 新作展(12月11日～19日)



「成果」多くの来場者にむけて芸術に触れる機会を提供できました。

「課題」新規活動者を増やすため、さらなる出展者数の増加を目指します。

○寿大学 57千円

高齢者が自ら意欲を持って、生きがいを見出せるように各種講座の実施、趣味活動を通じた仲間づくりを図りました。

一般教養コース 年10回
各種専門コース コースにより週1回～月1回
学級生 318人

「成果」一般教養コース年間計画のなかに、10秒の愛講演会を組み込み、地域で子育てに取り組む機運を高めることができました。

「課題」多様化する学習ニーズに対応するために事業内容の充実が必要です。

○青少年育成啓発事業 862千円

少年育成員を設置し、青少年の非行防止・健全育成を図るための活動を行いました。

夜間街頭指導: 通年 35回
少年育成員18人

10秒の愛シンポジウムを開催し、発達段階に応じた様々な年代の子育てについて考えました。

2月11日 カウベルホール
参加者数 389人

中学生によるジュニアリーダー養成講座を開催し、地域活動への参加を図りました。

年間10回開催 延べ77人参加

子ども会のリーダー・育成者が集い子ども会活動のあり方について研修を行いました。

3月19日(土) 会場:まなびタウンとうはく
3月21日(月) 会場:赤碕地域コミュニティーセンター
参加者数:子ども 75人、大人 52人

「成果」ジュニアリーダー養成講座を立ち上げ、中学生の地域活動推進を図ることができました。

「課題」現在参加者の少ない高校生や青年層の事業参加の呼びかけが必要となります。

○花づくり推進事業 185千円

花いっぱいの魅力ある町づくりを目指し、啓発を行いました。

花作り講座・コンクール実施

講座4回

参加者延べ 74人

コンクール応募 30事例

「成果」コンクール応募数が増加し、花作り講座参加者により地域の花壇も美しく整備されました。一定の効果を得られたため、22年度で花作り講座終了。

「課題」継続して機運を高めるためにもコンクールを継続して行う必要があります。



○生活体験学校実施事業 643千円

放課後・週末に地域の方々の参画を得て子ども達の安心・安全な居場所を作りを行いました。

放課後子ども教室 60回

参加者延べ 1,388人

「成果」居場所数が増え、参加者数も増加しました。

「課題」開催地域をさらに増やすことが課題となります。

○文化活動事業 1,116千円

町内芸能団体による芸能発表会を開催し、文化芸術の振興と団体間の交流を図りました。

実施日:11月14日(日)

会 場:カウベルホール

出演者 183人、入場者382人

町の文化振興を目的として開催する文化祭。町民の文化・芸術作品の展示会を開催しました。

実施日:10月30日～11月1日

会 場:東伯総合体育館

来場者:2,000人

「成果」町内文化芸能団体の出演者数及び入場者数は昨年より増加傾向にあり、一層の活動推進を図ることができました。

「課題」町内の文化芸能団体及び文化団体とも、今後は新たな後継者加入対策を図る必要があります。

○子育てネットワーク支援事業 99千円

○家庭教育支援基盤形成事業214千円

家庭教育講座、乳幼児学級を開催し、子育てについての理解を深めました。

実施回数 13回

参加者人数 延べ 96人

「成果」10秒の愛の認知度が上がり、家庭教育の重要性を啓発できました。

「課題」講座に参加していない人達に、家庭教育の大切さをどう伝えていくかが課題となります。



○まなびタウンとうはくPC教室実施事業 332千円

情報化時代に対応するため、まなびタウンとうはくを会場にしたパソコン使用法基礎講習を開催し、町民のパソコン技術等の向上を図りました。

実施回数 7講座、9回

参加人数 延べ 62人

「成果」新講座を含め、7講座を開催し、パソコン技術の向上を図りました。

「課題」参加者数が減少し、新たなニーズを把握した講座開設が必要となります。

- 昔の遊び大会 298千円
昔ながらの遊びの文化伝承を図るとともに、新しい遊び文化の創造を図りました。
巨大紙相撲大会 8月8日
会場：東伯総合体育館
参加人数 43人
「成果」紙ずもう大会を開催することにより、伝統文化の伝承と交流を深めることができました。
「課題」昨年に比べて参加チームが減少傾向にあるため、新たな伝統文化に関する企画が必要と思われます。
- 無盡庵管理 194千円
無盡庵の管理を行いました。
「成果」運営のための利便性の向上を図ることができました。
「課題」老朽化が著しく、今後は一層の維持管理費が必要と思われます。
- 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業 818千円
スクールガードリーダー 2名
巡回指導 304時間
「成果」通学路を中心とした子ども達の安全を確保できました。
「課題」他団体等との連携による地域の見守りの強化が課題です。

款	9 教育費	項	5 社会教育費	最終予算額	決算額
		目	2 公民館費	42,745千円	42,361千円
担当課決算額				42,745千円	42,361千円

- 公民館費 42,361千円
地域の特色を生かした生涯学習の促進と住民の生活課題、地域課題に即応した学習支援を行いました。また、幅広く公民館活動を展開し、町民の利用促進を図りました。

各公民館の利用状況

区 分	青少年団体		成人団体		女性団体		高齢者団体		その他団体		合 計	
	延回数	延人数	延回数	延人数	延回数	延人数	延回数	延人数	延回数	延人数	延回数	延人数
八橋地区公	245	2,995	79	2,702	198	1,776	70	951	10	429	602	8,853
浦安地区公	19	485	279	3,612	133	991	13	171	35	535	479	5,794
下郷地区公	14	497	81	1,616	27	304	92	1,232	1	70	215	3,719
上郷地区公	12	107	10	96	7	127	55	805	129	1,935	213	3,070
古布庄地区公	39	620	97	1,685	81	671	14	200			231	3,176
赤碕地区公	74	1,688	374	3,063	14	134	121	1,353	10	890	593	7,128
成美地区公	107	1,211	103	1,836	41	348	35	524	103	3,042	389	6,961
安田地区公	8	192	87	1,155	96	1,072	54	756	29	385	274	3,560
以西地区公	164	1,851	10	125	51	439	78	867	63	1,371	366	4,653
	682	9,646	1,120	15,890	648	5,862	532	6,859	380	8,657	3,362	46,914

- 「成果」住民の身近な学習拠点として、個人・地域総体の学習・連携の役割を推進しました。
- 「課題」より幅広く事業参加をしていただくため、ニーズ把握と地域課題の掘り起こしが必要です。

款	9 教育費	項	5 社会教育費	最終予算額	決算額
		目	3 文化財保護費	2,887千円	2,718千円
担当課決算額				2,887千円	2,718千円
<p>○町内文化財保護に要した経費 1,042千円</p> <p>○町指定等文化財の管理に要した経費 320千円</p> <p>○県指定保護文化財河本家住宅写真撮影委託料 846千円</p> <p>○県指定保護文化財四天王立像修理事業補助金 150千円</p> <p>○無形民俗文化財補助事業 60千円 県指定「三本杉の盆踊り」町指定「逢東盆踊り」「以西おどり」を後世に継承保存するため、各保存会に対して補助を行いました。</p> <p>○文化財建造物公開・活用促進事業補助金 300千円 県指定保護文化財河本家住宅の一般公開を実施する河本家保存会に対し補助を行いました。 一般公開日 4月29日(木)～5月5日(水) 入館者 459人 11月3日(水)～11月7日(日) 入館者 659人</p> <p>「成果」 ・河本家住宅が国の重要文化財に指定、転法輪寺本堂が国の登録文化財に登録されました。</p> <p>「課題」 ・河本家住宅は、公開・活用がされているが、転法輪寺本堂は、活用等がなされていないことから今後、活用について検討する必要性がありました。</p>					

款	9 教育費	項	5 社会教育費	最終予算額	決算額
		目	4 埋蔵文化財発掘調査費	5,882千円	5,812千円
担当課決算額				5,882千円	5,812千円

- 町内遺跡発掘調査事業 2,012千円
 県営加勢蛇2期地区畑地帯総合整備事業及び町物産館建設事業に伴い、開発事業と文化財保護との調整を図るため試掘調査を実施しました。
 県営加勢蛇2期地区畑地帯総合整備事業 2件（八橋第10遺跡、八橋龍王大山遺跡）
 物産館建設事業に伴う試掘調査 1件（別所在所第2遺跡）

- 県営加勢蛇2期地区畑地帯総合整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査事業（八橋第11遺跡）3,800千円（事業者負担分 3,230千円 農家負担分 570千円）
 竪穴住居跡を中心とした集落跡。（竪穴住居跡、貯蔵穴、落とし穴状遺構など）

「成果」 ・試掘調査は、八橋第10遺跡が土坑や溝状遺構を検出した。八橋龍王大山遺跡、別所在所第2遺跡は、遺構を検出していません。
 ・八橋第11遺跡は、竪穴住居跡、落とし穴状遺構など検出、調査して記録保存を行いました。竪穴住居跡を中心とする集落跡がありました。

「課題」 ・八橋第10遺跡は、今後、事業者と文化財の取扱について協議が必要になります。
 ・八橋第11遺跡は、梨の収穫や消毒等があり、調査が冬場になったことで、天候に左右され、本年度は豪雪に遭ったため、調査が遅れた報告書作成等を次年度以降に送りました。1月～3月の調査は、行わないようにする必要があります。

款	9 教育費	項	5 社会教育費	最終予算額	決算額
		目	5 生涯学習センター運営費	27,346千円	26,697千円
担当課決算額				27,346千円	26,697千円

- 生涯学習センター管理費 27,859 千円
 生涯学習施設として、町民等に学習の場の提供と施設の維持管理を行いました。
 生涯学習センター利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延回数	100	126	165	138	126	134	129	119	109	100	122	117	1,485
延人数	2,883	3,799	5,902	4,748	4,478	2,855	3,881	3,757	3,250	2,624	3,328	3,332	43,614

「成果」 町及び県内の学習拠点として、幅広い研修の場として活用されています。

「課題」 施設の効果的運用及び維持管理の軽減を検討します。

款	9 教育費	項	5 社会教育費	最終予算額	決 算 額
		目	6 図書館費	37,815千円	37,321千円
担当課決算額				37,815千円	37,321千円

○人件費 25,862千円
 一般職 1人 嘱託 2人 臨時 8人 (本館 8人、分館 3人)

○琴浦町図書館図書等購入費 5,240千円

本館(移動図書館車含む)赤碕分館において、町民の利用に供するための図書等の資料を購入しました。

区分	本館	赤碕分館	計
図書等購入費	4,738千円	502千円	5,240千円
蔵書数	121,309冊	23,049冊	144,358冊
図書等資料貸出	123,436冊	22,575冊	146,011冊

開館日数 本館290日、赤碕分館293日

○琴浦町図書館活動費 6,119千円

○学校図書館推進支援事業 100千円
 学校図書館が、子どもたちにとって使いやすい読書や学習の場となるよう支援しました。

○移動図書館車巡回
 移動図書館車による地域への本の貸出サービスを行い、利用者の利便性を図りました。
 呆・幼・小学校 18ヶ所 部落等 38ヶ所

「成果」暮らしに役立つ図書館を目指し、新規に各種相談会の開催に取組み、法情報コーナーを表示するなど所蔵資料を目につきやすくし、利用者の利便性を図りました。

「課題」子どもの読書推進計画を策定したので、推進に向けて具体的な取組みが必要です。

款	9 教育費	項	5 社会教育費	最終予算額	決算額
		目	8 カウベルホール運営費	12,747千円	12,580千円
担当課決算額				12,747千円	12,580千円

○カウベルホール運営費 11,968千円

カウベルホールの維持管理と運営を行いました。

カウベルホール利用状況

	ホール		会議室		和室		計		収入(千円)
4月	3回	600人	4回	61人	1回	20人	8回	681人	127
5月	2回	302人	3回	40人	回	人	5回	342人	39
6月	6回	994人	8回	400人	1回	50人	15回	1,444人	66
7月	6回	1,700人	8回	599人	5回	130人	19回	2,429人	122
8月	1回	150人	5回	50人	1回	20人	7回	220人	4
9月	6回	1,013人	7回	133人	1回	50人	14回	1,196人	169
10月	13回	2,874人	11回	248人	3回	105人	27回	3,227人	145
11月	9回	2,910人	10回	232人	3回	100人	22回	3,242人	52
12月	9回	1,118人	6回	123人	3回	39人	18回	1,280人	222
1月	6回	538人	3回	225人	2回	12人	11回	775人	22
2月	9回	1,765人	4回	32人	1回	30人	14回	1,827人	116
3月	5回	1,160人	3回	28人	3回	70人	11回	1,258人	198
合計	75回	15,124人	72回	2,171人	24回	626人	171回	17,921人	1,282

○公共ホール音楽活性化支援事業 612千円

子どもたちに音楽との出会いと触れ合いの場を提供し、感性や創造力の育成、また、公共ホール活性化を図ることを目的として、下記内容のとおり実施しました。

- ・公演事業 1回 出演アーティスト:高橋多佳子(ピアノ)

場所:琴浦町カウベルホール 入場者数:172名

- ・交流事業 4回 出演アーティスト:高橋多佳子(ピアノ)

場所:安田小学校(1年生~6年生)参加人数:81名

赤碕小学校(4年生)参加人数:31名

古布庄小学校(1年生~6年生)参加人数:62名

八橋小学校(4年生)参加人数:47名

「成果」カウベルホール運営の利便性の向上を図ることができました。

また、優れた音楽芸術と触れ合う良好な環境づくりを図ることができました。

「課題」今後は、音楽に対する新たな支持層を広げる必要があります。

款	9 教育費	項	6 保健体育費	最終予算額	決算額
		目	1 保健体育総務費	23,472千円	23,282千円
担当課決算額				23,472千円	23,282千円

○人件費 22,719千円
一般職 4人

○一般管理 563千円
社会体育に関する一般的な管理運営を行ないました。

款	9 教育費	項	6 保健体育費	最終予算額	決算額
		目	2 体育振興費	10,048千円	9,933千円
担当課決算額				10,048千円	9,933千円

○社会体育指導及び推進 1,815千円
心身ともに健康で明るい町づくりのため、体育指導委員の研修・活動の推進しました。

・体育指導委員(27人)

・研修会

琴浦町体育指導委員会定例会(琴浦町)	毎月(年12回)
中国地区体育指導委員研修会(倉吉市)	6月19・20日
鳥取県女性体育指導委員研修会(北栄町)	11月10日
全国体育指導委員研究協議会(岐阜県岐阜市)	11月25・26日
東伯郡体育指導委員研究大会(三朝町)	1月15・16日

・事業

体力づくり教室(スポンジテニス)	
8月19日～9月16日 毎週木曜日	参加者 5回 68人
町民体力づくりウォーキング(古布庄地区巨木の郷)	
11月3(水)文化の日	参加者 78人
体力づくりスポレク祭(スポンジテニス・ハウスホール)	
2月20日(日)	参加者 100人

・その他

各地区公民館活動協力・町主催イベント協力・各駅伝役員・各種体育指導・小学校親子会
 「成果」心身ともに健康で明るい町づくりのため、体育指導委員の研修・活動を推進しました。
 「課題」子供から高齢者まで、幅広くその人に合った生涯スポーツ提供の検討する必要があります。

○郡・県・国民体育大会選手派遣 3,017千円

郡民体育大会、県スポーツ・レクリエーション祭、全国大会に参加する町代表選手の参加補助を行いました。

・郡民体育大会	参加者 1,372人
・県スポーツ・レクリエーション祭	参加者 41人
・全国大会	参加者 29人

「成果」郡民体育大会において、念願の男・女総合優勝を果たす事ができました。
また、優秀な成績で県・全国大会へと選手を派遣する事が出来ました。

「課題」小・中学生の大会参加に対して、個人負担の割合が大きくなっています。

○町体育協会育成及び各部奨励 2,340千円

体育協会表彰を行い、体育の功績をたたえスポーツの振興を図った。町・体育協会主催事業の参加者に対し1日保険に加入した。体育協会の各部主催の事業を補助し、より一層のスポーツ振興を図りました。

・町体育協会事業

事業名	開催日	参加人数
春季ゴルフ大会	4月4日	60人
春季フットサル大会	4月18日	100人
体協グラウンドゴルフ東伯大会	5月9日	173人
体協グラウンドゴルフ赤碕大会	5月18日	127人
春季野球大会	5月16日	72人
町長杯卓球大会	5月15・16日	424人
6人制バレーボール大会	5月23日	49人
ミックスタブルステニス大会	5月16日	24人
春季ゲートボール大会	5月30日	30人
スポーツ・レクリエーションin琴浦 (ソフトボール) (バドミントン) (ソフトテニス) (グラウンドゴルフ)	6月6日	88人 63人 70人 248人
ナイター野球リーグ戦	6月12日～11月8日	391人
夏季ゴルフ大会	6月13日	33人
駅伝競走大会	9月26日	481人
秋季ゲートボール大会	10月12日	25人
秋季ソフトボール大会	10月24日	74人
キッズサッカーフェスティバル	10月24日	24人
秋季ゴルフ大会	10月24日	66人
秋季野球大会	10月31日	中止
ミックステニストーナメント	10月24日	20人
総合バドミントン大会	11月14日	68人
銃剣道大会	11月21日	10人
9人制バレーボール大会	12月5日	90人
バスケットボール大会	12月19日～1月23日	202人
武道館鏡開き	1月9日	100人
スキー&スノーボード教室	1月22日	33人
新春フットサル大会	1月10日	183人
卓球大会	3月6日	168人
小学生相撲教室	3月16日～4月20日(毎週 水曜日)	10人
柔道教室	4月17日～3月26日(毎週 土曜日)	5人
陸上教室	4月10日～3月26日(毎月 第2、4土曜日)	20人
水泳教室	6月21日～7月30日(毎週 月・火・水・金)	41人
ソフトテニス教室	8月21日～10月2日(毎週 土曜日)	22人

「成果」 体育協会表彰を行い、体育の功績をたたえスポーツの振興を図った。町・体育協会主催事業の参加者に対し1日保険に加入した。体育協会の各部主催の事業を補助し、より一層のスポーツ振興が図られました。

「課題」 各種大会に於いて、他行事等と重なり参加者の減ったものもあり、開催時期等の検討が必要となっています。

・町スポーツ教室

第15回琴浦町スポーツ教室交流会(バレーボール教室) 3月6日(日)

琴浦町内のバレーボールスポーツ少年団(4団体)及び中学校野球部(2校)を対象に、バレーボール教室を開催した。指導者として岡山シーガルズより5名により技術指導を行う。プロバレーボール選手と交流することにより、技術力のアップ・野球に対する姿勢などを学びこれからのスポーツ少年団活動、また学校生活等多いに役に立つ場となりました。

「成果」 プロバレーボール選手と交流することにより、技術力のアップ・バレーボールに対する姿勢などを学び今後のスポーツ少年団活動、また学校生活等大いに役に立つ場となりました。

・駅伝大会参加

中部地区・米子鳥取間駅伝競走大会への練習及び参加補助を行い、参加意識の向上と選手強化を図りました。

第64回中部地区駅伝競走大会 9月12日

出場 11チーム中 成績:優勝

第65回米子・鳥取間駅伝競走大会 11月6・7日

出場 57チーム中 成績:総合8位(郡市町村の部では優勝)

「成果」 中部地区駅伝・米子鳥取間駅伝と、それぞれ選手の皆さんの団結と練習成果により、それぞれ優勝と言う輝かしい成績が残せました。

「課題」 選手の年齢層が高くなり、若年層の選手育成が課題となりつつあります。

○町民体力づくり大会 30千円

町内の史跡等を巡り、ウォーキングによる体力づくり大会を計画・実施し、町民の体力向上と親睦を図りました。

町民体力づくりウォーキング(古布庄地区巨木の郷)

11月3(水)文化の日

参加者 78人

○スポーツ・レクリエーションの祭典 69千円

スポーツ・レクリエーションフェスティバルを開催することにより、ニュースポーツの紹介、普及を図り、町民の体力向上と親睦を進めました。

・スポーツ・レクリエーションin琴浦 6月6日(日) 参加者 469人

種目:バドミントン・グラウンドゴルフ・ソフトテニス・ソフトボール

・体力づくりスポレク祭 2月20日(日) 参加者 100人

種目:スポンジテニス・ハウンスボール

「成果」 子どもから高齢者まで取り組みやすいスポーツを選定し、町民体力向上と親睦が図られました。

「課題」 参加者が固定しつつあるので、啓発活動・種目の見直し等検討が必要です。

○スポーツ少年団育成強化 1,334千円

スポーツ少年団活動を通じて、少年団の心身ともに健全な育成を図りました。

団名	団員数	活動日
琴浦八橋野球	19人	毎週 水・金・日
浦安野球	20人	毎週 水・金・日
東伯野球	22人	毎週 月・水・金
赤碕・安田野球	19人	毎週 月・水・金
以西成美野球	20人	毎週 水・土
八橋バレーボール	16人	毎週 火・木
浦安バレーボール	10人	毎週 月・水・土
東伯バレーボール	25人	毎週 火・金
古布庄バレーボール	10人	毎週 火・木・土
赤碕バレーボール	26人	毎週 火・木・土
安田バレーボール	7人	毎週 火・金
成美バレーボール	13人	毎週 火・金・土
以西バレーボール	15人	毎週 火・木・土
琴浦ミニバスケットボール	36人	毎週 月・水
東伯バドミントン	21人	毎週 月・火・木・金
琴浦卓球	52人	毎週 [小学生]木 [中学生]火・木
東伯サッカー	43人	毎週 水・金
成美サッカー	41人	毎週 水・金
東伯剣道	21人	毎週 月・水・金
赤碕剣道	17人	毎週 月・水・金
琴浦空手	24人	毎週 月・水・金
琴浦相撲	8人	毎週 水

「成果」 体を動かす事の楽しみや、喜びを知り基礎的な運動能力や運動習慣を身につけ、生涯にわたりスポーツを楽しむ基盤となっています。

「課題」 子どもの少子化により、団員数の減少によりチーム統合等が不可欠となっています。

○県相撲選手権大会 28千円

全国高校総体を契機に本町で相撲競技を開催し、国技である相撲競技を広く町民へ普及しました。 11月3日(水)

「成果」 国技である相撲競技を広く町民へ普及し、町内小・中学生も優秀な成績を多数残すとともに、また他町選手と交流の場となっています。

「課題」 少子化により、選手が多少少なくなっています。

款	9 教育費	項	6 保健体育費	最終予算額	決算額
		目	3 体育施設費	36,641千円	35,424千円
担当課決算額				36,641千円	35,424千円

○社会体育利用施設管理 849千円
 町民が利用する、社会体育施設の維持管理を行いました。
 (東伯総合公園・赤碕総合運動公園・農業者トレーニングセンターは除く)

○平岩記念会館管理運営 923千円
 青少年が宿泊研修できるよう管理運営を行いました。

施設利用状況 (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	161	257	252	390	538	256	225	120	173	139	177	221	2,909

○総合公園管理 13,893千円
 東伯総合公園の維持管理を行いました。

施設利用状況 (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	4,161	5,140	5,609	5,009	6,800	5,318	3,581	3,468	2,333	1,811	2,951	2,846	49,027

○農業者トレーニングセンター運営 5,020千円(5,019,472円)
 町民のスポーツの普及・振興・健康づくり事業の開催ならびに、施設の維持管理を行いました。

施設利用状況 (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	1,317	1,053	1,638	1,408	881	1,040	1,700	4,946	1,151	742	1,371	1,453	18,700

○総合運動公園管理 7,550千円
 赤碕総合運動公園の維持管理を行いました。

施設利用状況 (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	817	1,273	2,112	890	1,304	1,125	1,627	662	—	—	—	447	10,257

※12月～2月は休園

「成果」 スポーツ施設の拠点として、町内外の利用者に喜ばれるよう維持管理を行いました。
 「課題」 各施設老朽化により、修繕箇所も多くなり施設管理が増加しています。